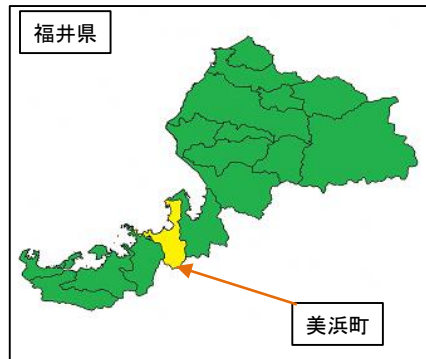


菅浜集落協定（福井県三方郡美浜町）

- 集落で地域の将来像を話し合い、既存施設や炭焼きなど地域資源を活用した取組の展開や集落協定役員に若者を登用し後継者を育成。

協定面積:田 30.5ha(急傾斜:26.9ha・緩傾斜:3.5ha) 交付金額:594万円
協定参加者:農業者37名 協定開始:平成12年度



地域の現状

- 当集落協定地区は、敦賀半島の西側に位置し、広大な棚田から若狭湾を望むことができる風光明媚な地域。
- 集落の農業者の高齢化による耕作放棄地の増加が懸念される中、耕作放棄地の発生防止のため、平成12年度から本制度を実施。
- 狭小な農地の畔塗りや、耕作者が概ね一か月ごとに急峻で長大な法面の草刈り作業を実施。獣害対策として金網柵10kmを設置。
- 「自然、環境、山の暮らし、炭の効果」等の理解を促すため、協定参加者が炭焼き指導者となり、県外中学校や県内小中学校の修学旅行生の炭焼き体験を受入れ。



【協定農用地】



【炭焼き体験】

取組の概要

- 農地等の維持管理が課題となっている中、担い手を中心に、集落ぐるみで水路・農道等の草刈など共同活動を実施し、農業生産活動等を維持するための体制を構築。
- 町内で一番おいしいと言われる菅浜地域の米の中でも、協定農用地の急傾斜地で作る棚田米を、「越地米（こいちまい）」としてブランド化し、直接販売や東京の鮎屋との直接取引により地域所得が向上。
- 令和元年度から、将来に向けた地域づくりを進めるため、ワークショップを開催して集落ぐるみの話し合いを行い、町の施設を利用した「だれでもウェルカム食堂」の開設、棚田米「越地米」や地域食材を使った食事の提供など、地域資源を活用した活動を展開。
- 会社勤務経験があり、パソコンや機械操作が得意な若者を集落協定の役員にして後継者を育成。



【「だれでもウェルカム食堂」と食事例】



【越地米（こいちまい）】